

全国大会で善戦、わんぱく相撲黒埼チーム



7月30日、東京国技館で第5回わんぱく相撲全国大会が開催されました。黒埼町からは、わんぱく相撲黒埼場所から選出された代表選手3人が出場。結果は右の通りです。



◆4年生の部 若田雄樹くん 3回戦進出
◆5年生の部 菅野雄生くん 2回戦進出
◆6年生の部 広瀬淳くん 4回戦進出
なお、全国から141チームが参加しました。黒埼チームは総合37位の成績でした。

写真は、大会前日の7月29日、時津風部屋で、部屋の人と。左から菅野くん、広瀬くん、一番右が若田くん。

街かど

- 募集しています
 - 短歌
 - 俳句
 - 詩
 - 随筆
 - イラスト
 - 写真
 - まんが
 - その他
- 町への意見や要望も受け付けます。文章は苦手というかたは連絡を取材に行きます。匿名もよいです。
- 投稿・連絡先は 黒埼町大野2843 1 広報「街かど」係 377-13101

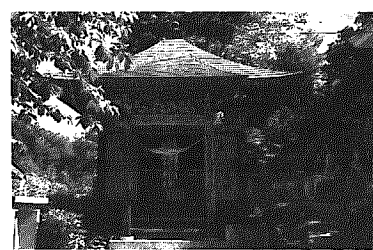


「黒鳥兵衛」についての一考察①

大谷 一男

伝説を求めて、過日国道八号線を北上した。新潟(越後)と山形(羽前)の県境、鼠ヶ関を右折して国道四七五号線を一時間ほど進むと温海町と鶴岡市との境界に鬼坂峠がある。ここに伝説の人、越後の黒鳥兵衛が登場する。その伝承の跡を確認するのが鬼坂峠への目的であった。

縁起書には、天喜元年(一〇五三年)六月、越後の黒鳥兵衛が、当時東国への支配を強めていた時の有力な武士団である源氏に対して反抗態勢を固めていた蝦夷士、阿部貞任を加勢するため鬼坂峠に来たことが記されている。



昭和45年11月遷座の鬼坂地蔵堂(遷座前は茅ぶきの屋根であったが、遷座を機会に全面改修)

昔からの鬼坂峠は内陸路の要衝であり、庄内平野が眺望される場所である。峠には地蔵堂があって、慈覚大師作とされる延命地蔵尊が祭られていたが、今では峠を下った坂野下という部落のお寺に移設保存されている。本殿の創立は定かでないが天喜年間、

地域とのかかわりはフォークダンスから

上山 恵子(鳥原)

広報くろさきの中の「街かど」という欄ができた最初に、私の投稿文と写真(そのころはわざわざ家に来られて写して下さった)を掲載していた

だいた。あれからもう十年近くになるのではなからうか。黒埼に住みながら仕事場が新潟市のために地域に深くかかわることなく時が流れてい

ここに住みながら、いつまでも仮の住まいのような生活から脱却せず、住民意識の低い自分に深く考えさせられた。地域の方との交流には公民館活動で多くの方との出会いをと……、そんな折りに社交ダンスを習っているところにいつも一緒にいる方で、北部地区公民館でフォークダンスを教えておられるという、加藤先生との出会いでさっそく仲間に入れていただくことができました。

公民館の場所も知らず見るのも初めて、私はいったい黒埼の住民なのかと自分自身が情けなかった。そこには数十

桜井先生の抜群の指導力と、誰に対しても平常心で接しているからだ。公平な心とサークル活動を的確に把握して、ぐいぐいと踊りの中に引き込み、先生自身が楽しむ心を知っておられ、優しく熱心な中に物事に対処する時の厳しさを教え、その指導力には脱帽するばかりである。

すばらしい先生に出会えたことに感謝し、その先生方を選ばれた北部地区公民館が活発な活動を続けておられ、若い館長の熱心さにも感動する。私の地域とのかかわりは、フォークダンスから始まった。「今にうまくなるよ、最初は

短歌

黒埼短歌会

庭石の乾く間もなく幾日を雨降れり
続き今日も雨降る 宮田 ミイ
伸び揃う麦の緑に風そよぎ雲雀の
声の天に聞ゆる 山田 卯八
一日を雨降りつげば落ちつきて一
人こもりて短歌に親しむ 長谷川 トリ
夏草の茂みの上に雨露の乾く間も
なく夕立の空 広瀬 八重子
登り来し赤城の山の岳樺夕陽を浴
びて幹のまわ立つ 泉井 ヨ子
久々の梅雨の晴れ間を紫陽花の花
の紫つややかに映ゆ 大谷 モト
赤白と今日は紫朝顔の自然の恵
みうれしくながむ 渡辺 ウタ

俳句

黒埼俳句会(静水選)

草取りの手をふと止め惜しみ見
つ涼しき青の露草の花 大矢 キイ
振光りの一きわ高きに誘われて命
日の亡母に毒買いたり 柴垣 きみ
布団より抜け出て屋敷の幼孫大の
字になりているがいとおし 金内 セツ
野焼火の匂いにつかしといひし子
の言葉受けとめ野に立ちぬ 阿部 浄子
病室の窓辺に立ちて早稲田見る
善兄は己れの病を嘆く 小出美紀子
雪中行軍に驚れし兵に想い馳せ涙
で仰ぐ八甲田山 笠原 セツ
梅子の香り狭庭に漂いて梅雨の晴
れ間を夏陽照りつく 鷲尾 幸角
藤棚の日蔭のわれを呼ぶ声の馴れ
馴れと親し九官鳥は 伊藤 一男

俳句

黒埼俳句会(静水選)

万代に照す灯の祭り浴衣老いも
若きもエネルギー燃ゆ 水田 和子
ハス池のしぶきを上げる噴水に
陽の照り返しまぶしく見ゆる 小林 くに
紫陽花の大きな鉢の理髪店
爪立ちてふるえる脚絆を取る としお
薫風や乙女の髪に殊更に
小さき風消えては起る青田かな よしお
青空をしかと支えて大向日葵
母の忌やメモをたよりの梅つける 睦 治
みどり

俳句

黒埼俳句会(静水選)

夏風邪に一日臥して日の長き
水文字風にヒラヒラ角の店 正二
豆の葉の翻るがえる時蝶たてり 孝子
検診車来て片陰に人ならば きよし
新牛蒡削り込みたる泥鰌鍋 みよし
行く先を信じて蟻の列長し 一 定
夏山の小屋の主の無愛想 代 香
紅に爪染めながら梅を干す 憲 治
色白も一人まじりて夏休み 静 水
加速度に草ぐき伸びて梅雨深し 小松とし松
うたた寝の夫へ扇扇の風送る 佐藤 キン

黒中卓球部が全国大会へ

県大会で優勝、北信越で3位

黒崎中学校卓球部が県大会で昨年に続き優勝、今年は北信越大会でも3位に入賞し、全国中学校卓球大会(8月24日、25日、島根県松江市)に出場します。顧問の浅妻敬二郎先生は「念願がかなった。全国大会では予選突破が目標」また

本間昌治郎主将は「一人一人が厳しい練習をこなし頑張った成果」。全国大会での検討が期待されます。右写真は浅妻先生(右端)と選手たち、本間主将、松岡広明、坂井寛、大滝守、渡辺航児、和泉直樹、鈴木和将。



8月22日、役場

にいがた広域圏を考える

黒埼・佐渡・白根・豊栄・合同公開シンポジウム
新潟・新潟6青年会議所

とき：9月17日 午後1時～4時 ところ：黒埼町総合体育館

※一般市民のかたもご参加ください。入場無料。
♥同会場で献血も行なっています。(10時～3時半)ご協力ください。

パネラー：若杉元喜新潟市長、斉藤富雄新津市長、伊豆野孝郎両津市長、浅妻茂一郎黒埼町長、滝沢昌三白根市長、小川竹三豊栄市長、坂井松一亀田町長

敬老会

とき：9月15日(敬老の日)
午前9時～
ところ：総合体育館

※満70歳以上のかたが対象です。対象となる皆さんには案内状をお送りしています。
☑役員住民福祉課